

平成27年度

学校自己評価報告書

平成28年4月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

## ■平成27年度 学校自己評価について

学校法人日本コンピュータ学園 東北保健医療専門学校は、東北における介護・医療・福祉の専門職を養成する教育機関として、平成23年に開校し、病院・施設・地域との連携を強化し、職業実践的な教育により、最先端で活躍できる医療福祉従事者の育成を目指しております。

本校では、開校以来独自の評価項目に基づき、学校自己評価に取り組んでおります。さらに、平成24年度からは、より良い自己評価を目指して、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として評価項目の改良、拡充を行い、現状・課題の把握ならびに改善策の検討・実施を行っております。また、評価にあたっては、教員の自己評価、学生アンケートなども踏まえて行っております。今後は、この学校自己評価の結果を生かし、更なる教育の質の向上を図ってまいります。

### 1、対象期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

### 2、実施方法

(1) 学内に「学校自己評価委員会」を設置し、委員会を中心に教職員一同により評価を行っております。

委員会構成：委員長 校長

委員 法人事務局部長、就職センター室長、進学相談室室長  
教務課長（2名）、総務課長代理

(2) 評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行っております。

(3) 評価は、年一回年度末に行います。

(4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

### 3、自己評価の項目

自己評価は、以下の10項目を実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

### 4、評価項目に対する評価

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

■基準1 教育理念・目的

教育理念

1. 基本的資質の修養  
品性を磨き、自己の人格形成に努めること
2. 知識と技術の体得  
理解を伴った正確な技術の訓練を継続すること
3. 調和のとれた心の鍛錬  
心の平静を保ち、前向きな姿勢で取り組めること

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	理念・目的・育成人材像は定められているか	4
b	学校における職業教育の特色を示しているか	4
c	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
d	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
e	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a.b. 理念、目的、育成人材像は明確に定められ、職業教育の特色も学科ごとに示し、パンフレットやホームページなどで広く周知している。
- c.e. 職業実践専門課程の教育課程編成委員会にて、外部有識者の委員から、現状を踏まえた意見をいただいたことで、教職員の認識も深められ、その内容に基づいて、業界のニーズに即した教育方針、教育目標、育成人材像を構築している。
- d. 今年度より学修要項（運営方針、教育計画）を新入生の保護者に配布し、入学時には、学生と共に説明している。

■基準2 学校運営

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
b	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4

c	運営組織や意思決定機能は、明確化され、有効に機能しているか	4
d	人事、給与に関する制度は整備されているか	3
e	各部門の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
f	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
g	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
h	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(2) 状況および課題と改善策

- a.b. 前年度の学校評価及び事業計画に基づき、運営方針を策定し、学校運営は組織的に機能している。さらに、より効率的に機能させるために、引き続き、適材適所に担当者を配置し、各職員の認識と理解が必要なときは、適宜指導をしていく。
- c.e. 学校運営に関する組織は整備されており、必要に応じて部門間での意見交換の上、適正に判断し業務を遂行している。今後、より有効に機能させるために、引き続き、学園全体の組織における業務分掌の再検討をしていく。
- d. 人事、給与に関しては、法律改正に合わせた見直しを適宜実施し、整備している。
- f. 基本的なコンプライアンス体制は整備されている。
- g. カリキュラムや国家試験対策などの課外授業については入学案内書やホームページで公開している。今後は、各学科での教育方法、教育評価、成績評価、資格試験について、公開に向けた情報整理をしていく。
- h. 情報のシステム化は積極的に取り入れており、効率的な業務の推進を図っている。さらに、教務事務の効率化に焦点を合わせた改善を進めていきたい。

■基準3 教育活動

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている	4
b	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
c	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4

d	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
e	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
f	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
g	企業や専門家の意見、評価を受け、より実践的な能力を修得する機会が整備されているか	3
h	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
i	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
j	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
k	必要な場合は業界と連携して、人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
l	関連分野における先端的な知識・技能等の修得や指導力の育成など、教員の資質向上のために研修等の取組が行われているか	3
m	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

(2) 状況および課題と改善策

- a. 今年度は、理学療法科、介護福祉科が職業実践専門課程の認可を受け、全学科で教育課程編成委員会にて、外部有識者から意見をいただき、教育目標や教育内容、カリキュラムの検討を進めることができた。
- b. 理学療法科、作業療法科は3年課程で到達させるべき目標が明確になってきている。また、就職後も自主的に行動できるよう、教育内容を吟味したうえで指導している。
- c.d. 各学科とも、規定及び資格取得に必要な条件に基づき、カリキュラムは体系的に編成されている。
- e.f. カリキュラムの編成については、外部有識者からいただいた貴重な意見を参考にしている。医療秘書科、医療情報管理科は、インターンシップの可能な時期や期間、内容について、具体的な検討がなされた。
- g.h.i. 学生からの授業評価は、高評価を得ている。さらに、教育活動における質の向上のために、科目間で評価に差が生じないように努めている。引き続き、各科目で妥当性、信頼性のある評価を目指し、教員の指導力向上を目的とした研修会を定例化していく。
- j. 理学療法科、作業療法科は、国家試験出題基準の変更に基づき、国家試験対策の体制を十分に整備している。介護福祉科については、国家試験を受験し、合格する体制を強化していく。

- k. 教員の採用に関しては、設置基準の規定及び人物・専門的な能力等の必要な要件を確認した上で採用している。
- l. 教員の研修については、専門分野の最新技術・知識の修得や指導力向上のための研修を必要に応じて実施している。
- m. 職員の研修については、今年度より研修委員会を立ち上げ、研修内容について検討した。今後、定期的に研修委員会を開き研修計画を策定していく。

#### ■基準4 学修成果

##### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	就職率の向上が図られているか	4
b	資格取得率の向上が図られているか	3
c	退学率の低減が図られているか	3
d	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
e	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### (2) 状況および課題と改善策

- a. 就職については、担任と就職センターが連携し、学生への早期意識づけを行い、きめ細かな支援を行っている。
- b. 国家試験出題基準の変更に伴い、試験範囲や出題傾向の分析を実施し、国家試験対策の指導体制を整備した。その結果、理学療法科は難易度が上がったにもかかわらず、全国平均以上、また作業療法科も全国平均並みの合格率を達成することができた。
- c. 退学率低減のために、早期から学生相談を実施し、保護者と連携することで、学生への支援を強化している。今後は、学習面での支援の在り方を検討し、具体的な学習の支援体制を整備することで、退学率低減への取り組みを継続していきたい。
- d.e. 今年度は、作業療法科の卒後技術研修会を開催し、各職場での事例や事案を発表するなど、意義のある研修会を実施することができた。また、平成28年度版学校パンフレットに掲載しているとおりに、各学科の卒業生と校長による対談を行ったことで、卒業後の活躍等を把握することにつながった。今後は、アンケート調査を実施することで、より多くの卒業生の意見を把握し、その結果を教育活動に反映させていく。

■基準5 学生支援

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
b	学生相談に関する体制は整備されているか	4
c	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
d	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
e	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
f	学生の生活環境への支援は行われているか	4
g	保護者と適切に連携しているか	4
h	卒業生への支援体制はあるか	4
i	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
j	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 進路・就職に対する個別の支援体制は整っている。さらに学科ごとの「就職支援プログラム」を整備し、積極的な就職活動を促進していく。
- b.c.d. 学生相談や学生の経済的側面、健康管理に対する支援体制は整備されている。
- e. ボランティアの紹介や協力、自主的な学習への支援などは積極的に実施している。
- f. 学生寮をはじめ、校内にはメディアセンター、食堂、売店、就職センター、保健室、相談室、自習室などを備え、適宜個別の相談を実施するなど、快適な学生生活が送れるよう指導している。今後も、支援を継続するなかで改善していく。
- g. 学生が主体的に学習できるよう、保護者とは早期に連絡・相談し協力体制を築いており、今後も連携を継続していく。
- h. 作業療法科は卒後技術研修会を実施している。また、今年度は各学科代表1名を招待し、校長との座談会を企画し情報交換を行った。
- i. 職業実践専門課程の教育課程編成委員会の外部有識者から意見をいただいたり、さらには卒業生や関連施設からの聞き取り等において、社会人のニーズを把握している。また、把握したニーズは、教育内容の改善に活かされており、今後さらに教育の質の向上に努めていく。
- j. 「平成27年度宮城県介護従事者確保対策事業」として「中学生・高校生対象の福祉・介護体験講座」を年2回実施した。また、新3年生対象に「春のオープンキャンパス」で、職業の理解を深める企画を実施した。

■基準6 教育環境

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
b	学内外の実習施設、インターシップについて十分な教育体制を整備しているか	3
c	学生が自主的に学習するための環境が整備されているか	3
d	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 必要な備品は、十分に検討したうえで新規に購入するなど、的確に判断し整備している。さらに、学生数やクラス数の増加等状況に見合った設備導入を進めていく。
- b. 理学療法科、作業療法科、介護福祉科の実習施設および教育体制は整備されている。さらに、理学療法科の学生数の増加に伴い、学内外の実技・実習施設を安定的に確保していく。
- c. メディアセンターや各教室の活用等、自主的に学習するための環境は整備しており、さらに状況に応じた改善を進めていく。また、研究結果を参照することができるよう、医学雑誌や学術雑誌の整備に努めていく。
- d. 定期的に年2回の防災訓練を実施し、そのうち1回は地震に対する訓練も同時に実施している。防犯に関しては、徹底した巡回・施錠を強化し、即時、対策を講じて対応している。また、災害傷害保険等にも加入しており、安全管理体制は整備されている。

■基準7 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	学生募集活動は、適正に行われているか	4
b	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
c	学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 学校のホームページをリニューアルし、実績に基づいて、真実性、透明性、公平性、法令遵守において、入学希望者に適正な情報を提供している。「春のオープンキャンパ

ス」では、仕事の理解を中心とした企画を実施し、参加者の満足度も高い結果となった。今後とも、「体験入学会」、「オープンキャンパス」では、適宜内容を検討し、より満足度の高い内容の情報提供に努めていく。

- b. 情報を整理したうえで、高校へ情報を提供・発信し、教育成果を正確に伝えている。
- c. 学納金は、他校の学費水準も把握し、各学科における入学金、授業料、実習費等を算出し、教育内容や教育環境に照らし妥当であるか協議の上、決定している。

## ■基準 8 財務

### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
c	財務について会計監査が適正に行われているか	4
d	財務情報公開の体制整備はできているか	4

### (2) 状況および課題と改善策

- a. 財務諸表の通り、学園の財務基盤は安定している。今後も、学生数の確保を図り、継続して中長期的な財務基盤の安定に努めていく。
- b. 事業年度開始に当たって作成する予算に対し適宜補正予算を組むなど、予算の編成及び執行は適正に実施している。
- c. 会計監査は、関連法規により、公認会計士及び監事により適正に行われている。
- d. 財務情報については、事務局に決算書類等の帳票を備え付けるとともに、ホームページに「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」を公開している。

## ■基準 9 法令等の遵守

### (1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
b	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
c	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
d	自己評価結果を公開しているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 法令や設置基準の遵守については適正に行っている。また、法令等による指定学科についても、その指定基準ならびに改正点等に適正に対応している。
- b. 個人情報の保護については、「個人情報の保護に関する規則」、「個人情報保護に関する細則」、「個人情報保護管理に関する運用基準」を定め、教職員へ周知し、遵守している。今後もより一層対策を強化していく。
- c. 自己評価については、「学校自己評価委員会」を組織し、定期的な評価を通して問題点を明らかにするとともに、その対策および改善案を検討し、財政的、人的資源の最適配分を考慮して実施している。
- d. 自己評価結果については、「学校自己評価報告書」としてホームページ上に公開している。

■基準10 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
b	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
c	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 関係団体の研修会開催の支援や会場の貸し出しを行っている。
- b. 関係団体からボランティアの要請があった際は、学校として、積極的に学生に適宜紹介し、活動参加にあたっては、推奨・協力している。例としては、車椅子テニスの大会運営補助、各病院施設のお祭りやシルバーセンターでの催し物などに参加している。
- c. 「平成 27 年度宮城県介護従事者確保対策事業」として、中学校、高校等を訪問し、介護の仕事の魅力を伝達し、将来的に介護の仕事を選択してもらえるよう相談、助言、指導などを行っている。イベントとしては、年2回の「中学生・高校生対象の福祉・介護体験講座」を開講し、福祉・介護の仕事の大切さと魅力を伝えている。

以上

---

学校法人日本コンピュータ学園      東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号

---